NOMURA

マンスリーレポート

ノムラスマートプレミアム
（野村SMA・EW向け）

追加型投信／内外／資産複合／特殊型（絶対収益追求型）

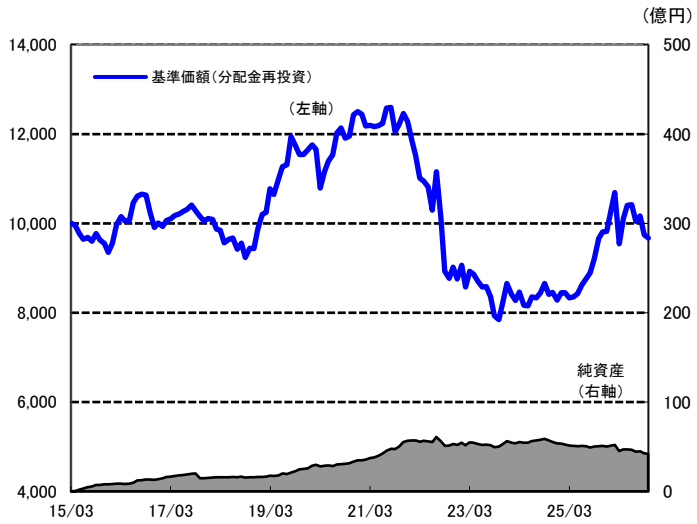
2026年10月30日
（月次改訂）

運用実績

2026年10月30日 現在

運用実績の推移

（設定日前日＝10,000として指数化：月次）



・上記の指数化した基準価額（分配金再投資）の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものとして計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

基準価額※	9,655 円

※分配金控除後

純資産総額	41.9億円

●信託設定日 2015年4月1日
●信託期間　無期限
●決算日　原則12月6日
（同日が休業日の場合は翌営業日）

騰落率

期間	ファンド
1カ月	−0.7%
3カ月	−3.7%
6カ月	−4.3%
1年	0.1%
3年	23.3%

分配金（1万口当たり、課税前）の推移

2025年12月	0 円
2024年12月	0 円
2023年12月	0 円
2022年12月	0 円
2021年12月	5 円

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来	−3.3%

設定来累計	20 円

設定来＝2015年4月1日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書（交付目論見書）記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行なわない場合もあります。

ノムラスマートプレミアムマザーファンドの資産内容

2026年10月30日 現在

資産別配分（純資産比）

		現物		先物		合計	
株式	先進国株式	7.1%	6.7%	25.1%	20.5%	32.1%	27.2%
	日本		0.0%		2.6%		2.6%
	北米		6.7%		14.0%		20.7%
	欧州		0.0%		1.7%		1.7%
	アジア(除く日本)		0.0%		2.3%		2.3%
	その他		0.0%		−		0.0%
	新興国株式		0.4%		4.6%		4.9%
債券	先進国債券	43.3%	12.1%	17.7%	17.7%	61.0%	29.8%
	日本		0.0%		−10.9%		−10.9%
	北米		0.0%		10.3%		10.3%
	欧州		12.1%		15.9%		28.0%
	アジア(除く日本)		0.0%		2.5%		2.5%
	新興国債券		18.4%		−		18.4%
	物価連動債		8.0%		−		8.0%
	事業債等		4.9%		−		4.9%
リート		1.3%		−		1.3%	
商品		7.8%		−		7.8%	
短期金融資産		40.6%		−		40.6%	
合計		100.0%		42.8%		142.8%	

・先進国、新興国の区分は野村アセットマネジメントによるものです。
・株式、新興国債券、物価連動債、事業債、リート、商品への投資はETFを含みます。

実質通貨配分（純資産比）

先進国	
円	79.4%
米国ドル	27.0%
カナダドル	0.2%
ユーロ	3.2%
イギリスポンド	0.1%
オーストラリアドル	0.3%
スイスフラン	0.0%
スウェーデンクローナ	−0.0%
ノルウェークローネ	0.4%
その他	−20.7%
新興国	10.2%
合計	100.0%

・実質通貨配分は為替予約等を含めた実質的な比率をいいます。
・その他には、米国ドル建てETFを含みます。
・新興国には、現地通貨建新興国国債ETF、新興国株式指数先物、台湾株式指数先物の投資比率を含みます。

リスク特性値

デュレーション	2.9年

・デュレーションは、組入債券（現金を含む）のデュレーションを、その組入比率で加重平均したものです。
野村アセットマネジメントによる推計値です。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します（外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。）ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込手続きについてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は
NOMURA 野村アセットマネジメント
商　号：野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第373号
加入協会：一般社団法人資産運用業協会／
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

NOMURA

マンスリーレポート

ノムラスマートプレミアム
（野村SMA・EW向け）

追加型投信／内外／資産複合／特殊型（絶対収益追求型）

2026年10月30日
（月次改訂）

下記の事項は、この投資信託をお申込みされるご投資家の皆様に、あらかじめご確認いただきたい重要な事項としてお知らせするものです。
お申込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分にお読みください。

投資リスク

ファンドは、株式、債券およびREIT等を実質的な投資対象としますので、組入株式の価格下落、金利変動等による組入債券の価格下落、組入REITの価格下落や、組入株式の発行会社、組入債券の発行体および組入REITの倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、実質的な取引対象とする商品等取引固有の要因により、基準価額が下落することがあります。また、世界各国の株式・債券・REIT・商品・通貨等への実質的な投資によるロング・ポジション、あるいは有価証券先物取引等および為替予約取引等の売り建てによるショート・ポジションを構築することにより、実質的な投資対象市場の方向性によらず収益の獲得を目指しますので、実質的な投資対象市場が上昇した場合でも、収益が得られない場合や損失が発生する場合があり、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。
したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。
※ファンドの基準価額の変動要因には、この他にも、取引先リスクなどがあります。
※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

【当ファンドに係る費用】

ご購入時手数料	ありません。
運用管理費用 （信託報酬）	信託報酬の総額は、基本報酬額に成功報酬額を加算して得た額とします。 【基本報酬額】 ファンドの純資産総額に年0.99%（税抜年0.90%）の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。 ※ファンドが実質的に投資対象とする上場投資信託証券は市場の需給により価格形成されるため、その費用は表示しておりません。 【成功報酬額】 運用実績に応じた額（一定時点毎の基準価額が過去の一定時点における最高値を更新している場合のみ）とします。 ※成功報酬額は運用実績により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。 詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。
その他の費用・手数料	組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
信託財産留保額 （ご換金時）	ありません。

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

≪分配金に関する留意点≫
●分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。
●ファンドは、計算期間中に発生した運用収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。
●投資者の個別元本（追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本）の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

ファンドの販売会社、基準価額等については、下記の照会先までお問い合わせください。
野村アセットマネジメント株式会社
☆サポートダイヤル☆　0120-753104（フリーダイヤル）
＜受付時間＞営業日の午前9時～午後5時
☆インターネットホームページ☆　https://www.nomura-am.co.jp/

＜委託会社＞野村アセットマネジメント株式会社
［ファンドの運用の指図を行なう者］
＜受託会社＞野村信託銀行株式会社
［ファンドの財産の保管および管理を行なう者］

ファンドは、値動きのある証券等に投資します（外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。）ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込手続きについてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は
NOMURA 野村アセットマネジメント
商　　号：野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第373号
加入協会：一般社団法人資産運用業協会／
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

NOMURA

マンスリーレポート

ノムラスマートプレミアム
（野村SMA・EW向け）

2026年11月
（月次改訂）

追加型投信／内外／資産複合／特殊型（絶対収益追求型）

先月の投資環境

○株式市場は日本で下落した一方、米独では上昇しました。債券市場においては、長期国債利回りが日米独で低下（価格は上昇）しました。為替市場では、円が米ドルに対して前月末とほぼ変わらずとなった一方、ユーロに対しては上昇しました。

○9月の米雇用統計が市場予想を下回り、FRB（米連邦準備制度理事会）による追加利上げ観測が後退したことなどから株式市場は上昇する動きが見られたものの、その後は中東情勢の緊迫化に伴う原油価格上昇を受けて、インフレ再燃や金融引き締め長期化への懸念が強まったことや、米国でAI投資の採算性に対する見方が慎重となったことなどを背景に下落しました。ただし、欧州においては企業決算や業績見通しがおおむね堅調だったことなどが好感されて上昇しました。債券市場では、FRB当局者の追加利上げに対する慎重な姿勢や、安全資産需要の高まりなどを背景に長期国債利回りが低下しました。為替市場では原油価格の上昇を受けて日本の交易条件の悪化が意識されたことなどが円安要因となった一方で、米国の株式市場でAI関連銘柄が下落したことを受け、安全資産としての円買い需要などが円高要因となり、円は米ドルに対してほぼ変わらずとなりました。

先月の運用経過

（運用実績、分配金は、課税前の数値で表示しております。）

月間の基準価額騰落率（分配金再投資）は、-0.71%でした。寄与の内訳は、株式-1.38%、債券+0.63%、為替+0.04%、オルタナティブ（リート・商品）+0.07%、その他要因（信託報酬・取引効果等）-0.07%です。

株式戦略では、北米市場で下落したナスダック100指数先物や半導体株ETFを買い持ちとしたことなどがマイナスとなりました。
債券戦略では、デュレーション※を平均3年程度とした配分効果などがプラスとなりました。
為替戦略では、外貨比率をプラスとした配分効果などがプラスとなったものの、対円での下落率が大きかったメキシコ・ペソを買い持ちとしたことなどの外貨選択効果がマイナスとなり、全体のプラス幅を縮小しました。
オルタナティブ投資では、月平均1%程度の投資比率としたリートへの投資効果や、月平均8%程度の投資比率とした商品への投資効果がプラスとなりました。

○株式：　実質組入比率は10月末時点で32.1%としました。
○債券：　デュレーションは10月末時点で2.9年としました。
○為替：　外貨比率は10月末時点で20.6%としました。
○オルタナティブ：　投資比率は10月末時点で、リートを1.3%、商品を7.8%としました。

※デュレーションとは、金利がある一定の割合で変動した場合、債券の価格がどの程度変化するかを示す指標です。この値が大きいほど金利変動に対する債券価格の変動率が大きくなります。

今後の運用方針　（2026年11月5日　現在）

（以下の内容は当資料作成日時点のものであり、予告なく変更する場合があります。）

○想定する投資環境
　米国を中心に、世界景気は堅調に推移していると評価しています。経済指標においては引き続き米国で景気の堅調さが確認されることに加えて、相対的な劣後が見られた欧州においてもドイツで改善の傾向が確認されています。金融政策に関しては、中東情勢をめぐる報道によって原油価格が変動し、重要な指標の一つであるインフレ率に影響を及ぼすことで予想しづらい状況が継続しています。原油価格の上昇以外にも、AI関連投資に伴う旺盛な資金需要、財政懸念など、長期金利の上昇要因が複数存在します。しかし、これまでの金利上昇が景気に及ぼす影響や、金利のさらなる上昇余地の可能性についても考慮すると、金融環境が今後さらに大きく引き締まる可能性は大きくないと考えています。株式市場の調整にも備えつつバランスの取れた資産配分を志向する方針です。

＜方針＞
○株式：　実質組入比率を現状程度に維持する方針です。
○債券：　デュレーションを現状程度の水準に維持する方針です。日本に対しては抑制的な配分とする方針です。
○為替：　実質外貨比率を現状程度の水準に維持する方針です。
○オルタナティブ：　商品投資において現状程度の投資比率を維持する方針です。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します（外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。）ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込手続きについてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は
NOMURA 野村アセットマネジメント
商　　号：野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第373号
加入協会：一般社団法人資産運用業協会／
　　一般社団法人第二種金融商品取引業協会

ノムラスマートプレミアム（野村SMA・EW向け）

お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人資産運用業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第142号	○	○	○	○

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。
※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。